

編集後記

紅葉の季節となった。毎年繰返すのはずであるが、今年はどこへ見に行くか考えるだけで楽しくなる。そう思うのは私だけではあるまい。日本人の多くがそう考え紅葉見物に出かける。紅葉人口が減らないのは、若い世代も年を経るとともに紅葉に魅せられてゆくからであろう。そんな魅力が日本の紅葉にはある。写真、絵画、ビデオ等メディア情報としても多々あるが、自然の刹那的な変化を実感することに優るものは無い。

“自然に帰れ”とはかのルソーが教育の場で述べた名言とされている。文明、文化が発展する中で、やはり人間には心の面からも自然という環境が不可欠なのだろう。

今回の特集テーマは「環境」である。“建設＝自然破壊”と捉えられやすい我々の環境であるが、“そうではない、こんなにやっている”と反論すべしとの編集方針を立て作業を開始した。諸先輩、各位の努力をアピールするため協会員多数に情報提供、ご協力を頂いた。この場を借りて感謝致したい。しかしテーマと

建設業との関わりを改めて整理してみると、編集担当委員の環境対応への情報収集不足・認識不足とお叱りを受けるかも知れないが、抱いていた感覚以下に対応事例が少ないのに驚いた。もちろん優れた対応例も多いが、関連する「環境」分野は質、量共に多いからであろう。

今は転換期と認識し、より社会へアピールできる建設業となるため、関係各位の一層の注力、若い発想力が益々必要とされるのではないだろうか。

数年前に飛騨高山のトンネル現場を訪れる機会があった。狭い谷間は世界遺産に指定されており、訪れる観光客も多く施工に当たっては、ボーリング・マシンの組立ても地下空間で行う等のご苦労をされていた。今月号の表紙は東京都心まで地下鉄で10分ほどの場所で工場を解体、大型店舗を建築する現場で撮影した物である。従来は環境＝自然というイメージがあったが都市部工事においては環境＝周辺地域、住民の日常生活という要素が加わっていることを地域住民の一人として実感した次第である。（森本・金津）

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	両角 常美
渡邊 和夫	

編集委員長

関 克己

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源機構
吉村 豊	電源開発
西田 光行	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克巳	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
宮木 克己	日立建機
庄中 憲	施工技術総合研究所

11月号「除雪技術特集」予告

- ・近年の除雪事業を取巻く状況
- ・除雪機械の実態調査報告
- ・横断歩道部の除雪機械の開発状況
- ・新技術を活用した消融雪システムの効果検証
- ・東北地方整備局における効率的な道路除雪の取組み
- ・北陸地方整備局における効果的な道路除雪の取組み
- ・札幌市の雪対策
- ・除雪作業の効率化を目的とした凍結制御舗装の効果検証
- ・除雪作業の効率運用
- ・IT技術を用いた除雪機械の管理システム

No.656 「建設の施工企画」 2004年10月号

〔定価〕1部840円（本体800円）
年間購読料9,000円

平成16年10月20日印刷

平成16年10月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒1060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380